

取扱い説明書

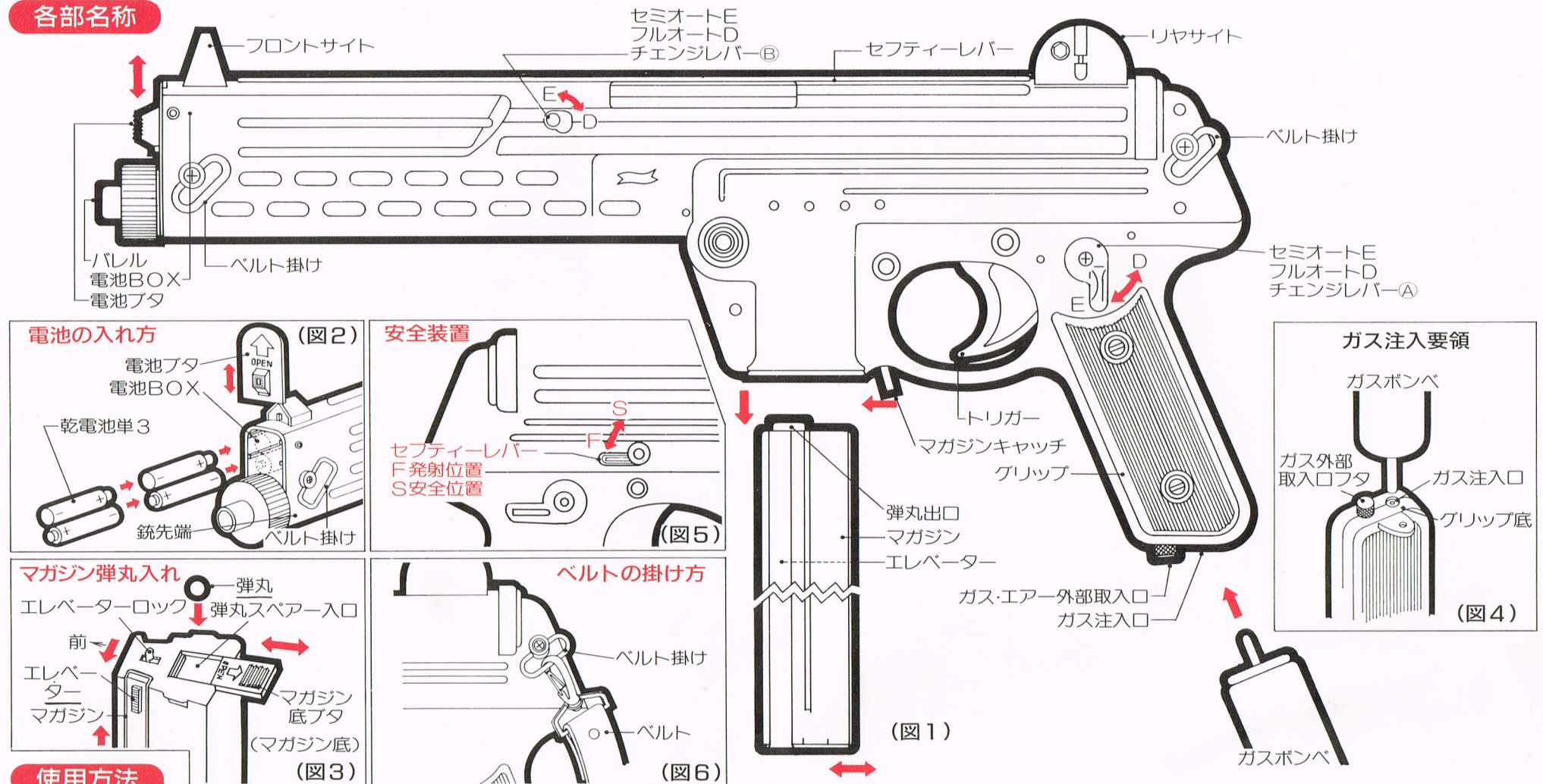
18才以上用エアースoftガン

ガスガン

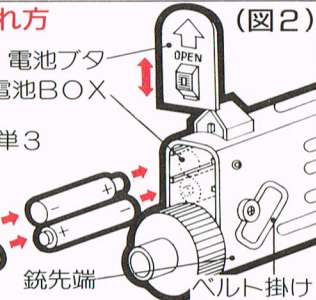
ワルサーMPL WALTHER MPL GAS GUN

ワルサーMPLは18才以上を対象に開発された、エアースoftガン(ガスガン)です。誤った使用方法、又は改造、変造によって生じた故障や事故について、当社は一切その責任を負いませんので、本説明書を良く読んで、充分理解の上御使用下さい。

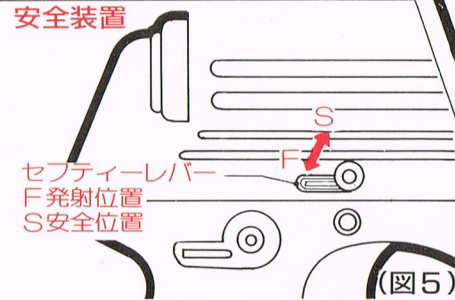
各部名称



電池の入れ方



安全装置



マガジン弾丸入れ



使用方法

①マガジン装弾

ガス注入要領

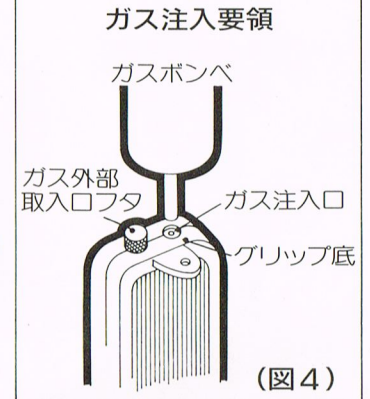


図4. ガス・エア外部取入口フタ、これは大きなガスボンベ、又は圧縮空気を使用する場合、この

図1. マガジンキャッチを矢印の方向に押し、マガジンを下に引き抜出す。

図3. エレベーターを矢印の方向にさげロックする。

マガジン底ボタンを開け、弾丸を入れて下さい、スパー弾丸約70発入ります。

図1. 弾丸を入れ、少し上下に振りマガジン出口に弾丸が入ります。(22発発射出来る)

図3. マガジンを銃に差し込み、エレベーターロックを矢印の方向に押し、ロック解除します。

注●22発射ち終わりますと、銃からマガジンを抜かなくても、そのままエレベーターをロックし、銃をさかさにして上下に振るとスパー弾丸がマガジン出口の方に入ります、そしてロック解除して下さい。

②電池の入れ方(単3×4本)

図2. 電池ボタンを上引きあげる、図2の様に上下2本ずつ⊕⊖をまちがわない様きつちりおくまで入れて下さい、電池をおさえる様にして電池ボタンを入れる。

注●電池はフルオート(連発)のみ使用します、モーターの回転がおそく成った時は4本とも取替えて下さい。

●遊ばない時は電池を電池BOXより抜いておいて下さい。

③ガス注入

図4. 銃を逆さにして、グリップのガス注入口よりガスポンペを差し込み、数秒間押えて下さい、ガスが入ります、ガスがいっぱい入りますと注入口からガスが出ます。(必ず図4の様にガスポンペを上から下に向けて注入して下さい)

ガス銃取扱い注意 ●本文をよく読み、正しく安全に御使用下さい。

①ガスポンペやガスを注入した銃を、高温になる場所(真夏の車の中や冬のストーブの近く)に置かない事。

②フロン12ガス以外のガスを銃に注入しない事。

③銃にガスを注入する場合、ガスポンペを注入口にまっすぐに差し込み、抜く時もまっすぐ上に抜いて下さい。

④銃にガスを注入してすぐ射ちますと、生ガス(液状)が出る場合がありますが、故障ではありません。

⑤発射した後、銃より時々シューと音がしましても、タンクが冷えたためで、温まりますと止まりますので故障ではありません。

射撃マナー及び注意について

フルサーMPLを取り扱われる際は、本物の銃を取り扱うのと同じ気持で次に挙げる射撃マナー及び注意をお守り下さる様お願い致します。

①銃は弾が装填されているのかかわらず、絶対、人には向けないで下さい。

②射つ時は安全な場所にマトをおいて射ちましょう。

③専用弾丸以外は使用しないで下さい。(その他の弾を使用した場合は弾づまりします。)

④安全装置は撃つ瞬間までははずさない事。

⑤引金は撃つ瞬間まで触れない事。

⑥使用しない時は、マガジンから弾丸を抜き出しておいて下さい。

⑦この銃はプラスチック製ですから、不必要に乱暴な扱いをされるとこわれます。

フタをはずして、ホースをここに接続して下さい。(ガスもれのない様気を付けて下さい)

④チェンジレバー

図1. チェンジレバー①と②が有り、E:セミオート(単発)、D:フルオート(連発)です。E・D切替は必ず、チェンジレバー①と②を必ず2ヶ所切替えて下さい。

E:単発はトリガーをいっぱい引きますと一発発射されます。

D:連発はトリガーを引いている間、マガジンに入っている弾丸が発射されます。

注●フルオートで使用する場合、ガスタンクが冷えてガス圧がさがります、スピードがおちた時は少し使用する時間をあけて下さい。

注●トリガーが空うちになった場合、チェンジレバー①②をもう一度切替えて下さい。

⑤セフティーレバー(安全装置)

図5. 発射する場合は“F”の位置に、射撃しない場合は“S”の位置にして下さい。

注●銃を使用しない時は電池およびマガジンを抜き、セフティーレバーを必ず“S”の位置にして下さい。

⑥発射(射撃)

図1. 以上が終了したら安全な場所を確認してから、トリガーを引いて下さい、弾丸が発射されます。

⑦おねがい

射撃マナー及び注意、フロン12ガス取扱い注意をよくお読みいただき守って下さい。

⑥銃を連発速射しますと、弾速がおちる場合がありますが、ガスタンクが冷えたためです。少し、射つのをやめると又弾速がもどります。

⑦冬など寒い時は、ガスを注入する場合、入りにくくなります。ガスポンペを手で温めてから注入して下さい。(なお、ガスポンペを40℃以上には絶対しない事。)

⑧射ち終わったら、必ず、ガスを抜いて下さい。(空射ちをしてガスの無いのを確かめて、小さなお子様の手の届かない所に保管して下さい。)

⑨マガジンに弾丸が入っていないと思って、万一入っている場合があります。(マガジンを抜いた場合でも、入っている場合があります。)人に向けたり、銃口をのぞいたり、絶対にしない事。

注)ヨネザワ専用弾丸Y-BB6%をお使い下さい。

他の弾丸を使用しますと故障の原因になる事も有ります。

専用弾丸、フロン12ガスポンペを別売しております。

フロン12ガス取扱い注意

- 温度が40℃以上の高温場所に長時間おかない事。
- 直射日光、火気の近くに長時間おかない事。
- ガスポンペを温めて使用しない事。
- 使用後のガスポンペは火気の中に投じない事。
- 人体に使用しない事。
- 使用後の空缶は穴をあけてすてる事。